

只輸送訓練

松尾裕彦市危機管理監は「市内は斜面地が多く、道が寸断される可能性が非常に高い」とあいさつし、両者が密接に連携する必要性を強調した。長崎海保の本野勝則部長は「課題をしっかりと検討し、よりよい救助や支援活動につなげていきたい」と述べた。

職員らは飲み物や食料品、生活用品など市庁舎に保管する備蓄物資を長崎海保の巡視艇「いきかぜ」に載せ、長崎サンセットマリナー(福田本町)や伊王島開発総合センター(伊王島町1丁目)へ搬送した。(橋本真依)

親子でちゃんぽん 郷土の味

料理研究家 脇山さん解説

長崎玉成高付属中学部



生徒に食材の下ごしらえを助言する脇山さん(中央)
＝長崎玉成高付属中学部

長崎の食文化に親しもうと、長崎市風頭町の長崎玉成高付属中学部(前田功校長、28人)の生徒と保護者が3日、長崎ちゃんぽん作りに取り組んだ。2年生の総合的な学習の時間の一環。「ふるさと教

育」で長崎の「和華蘭」文化を体験し、毎月、学んだことを1ページの用紙にまとめていく。今回は全学年合同で、料理研究家の脇山順子さん(87)を講師に招き、調理実習をした。親子48人が参加。脇山さ

んが「ちゃんぽん」の名前の由来などを説明した。生徒らは扱い慣れない包丁を使い、ニンジンなどの食材を真剣な表情でカット。保護者は「上手」と褒めながら見守った。中華スープのにおいが調理室に漂い、色とりどりの食材が入った一皿が完成。試食した親子から笑みがこぼれた。

脇山さんは「郷土料理の作り方を知って、多くの人に広めてほしい」と期待した。3年の渡邊如喜さん(14)は「大きな中華鍋で炒めるのが大変だった。いろんな味がしておいしかった」と感想を語った。

(村瀬晴香)

地域福祉に貢献の 17個人・団体表彰

長与

第23回長与町社会福祉大会が4日、西彼長与町嬉里郷の町老人福祉センターであり、長年にわたり地域福

やり方を引き継ぎ、稽古なしで「お下り」「お上り」に臨む。ぶっつけ本番。スタイル。総宰領

掃り時間の工以。致)

